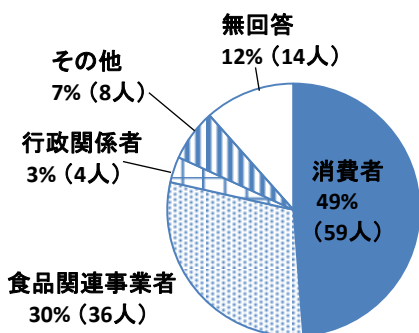


# 平成29年度「大阪府食の安全安心シンポジウムアンケート」結果

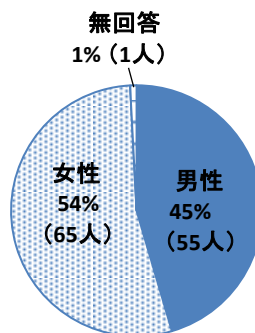
- テーマ : ほんまはどやねん？これからどうなる？  
遺伝子組み換え食品
- 日時 : 平成28年10月20日（金）  
14時00分～16時30分
- 参加者 : 159名
- アンケート回答者 : 121名

## ご自身について

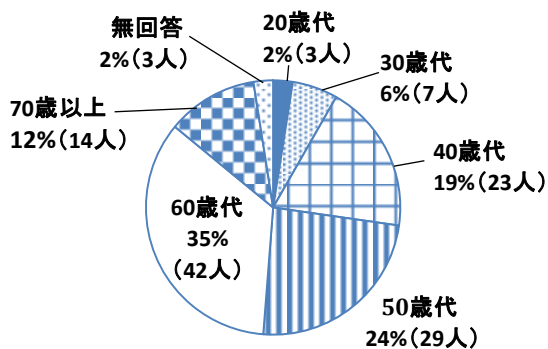
### Q1. 区分



### Q2. 性別

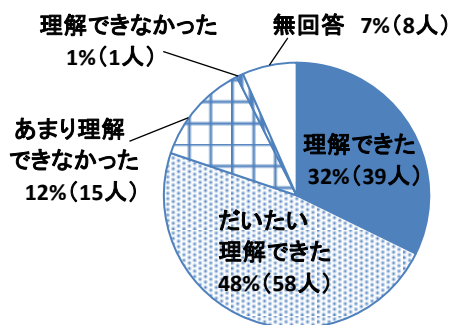


### Q3. 年齢

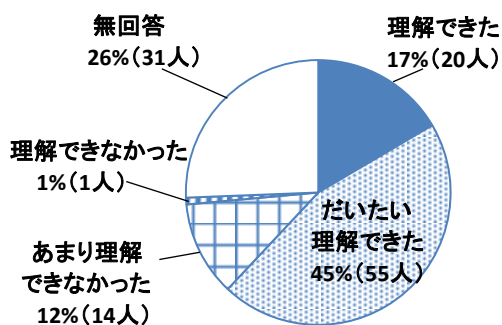


## シンポジウムの理解度について

### Q4. 基調講演（無回答除く）

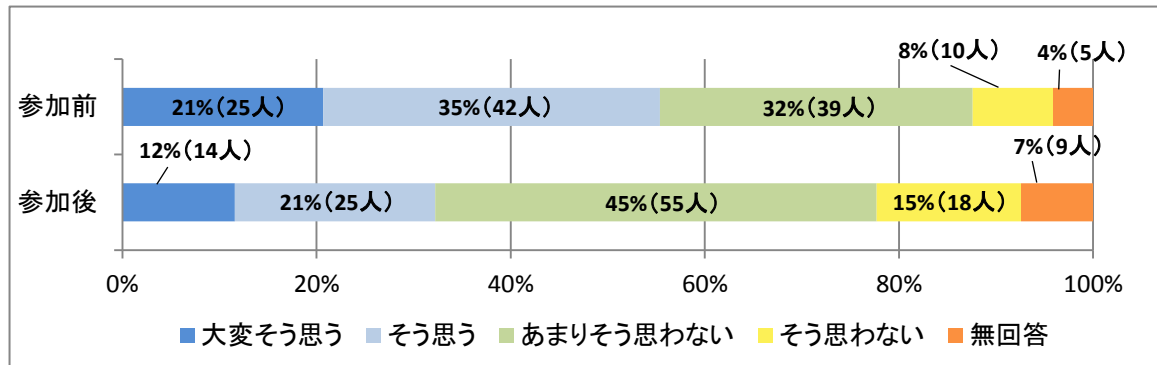


### Q5. パネルディスカッション（無回答除く）

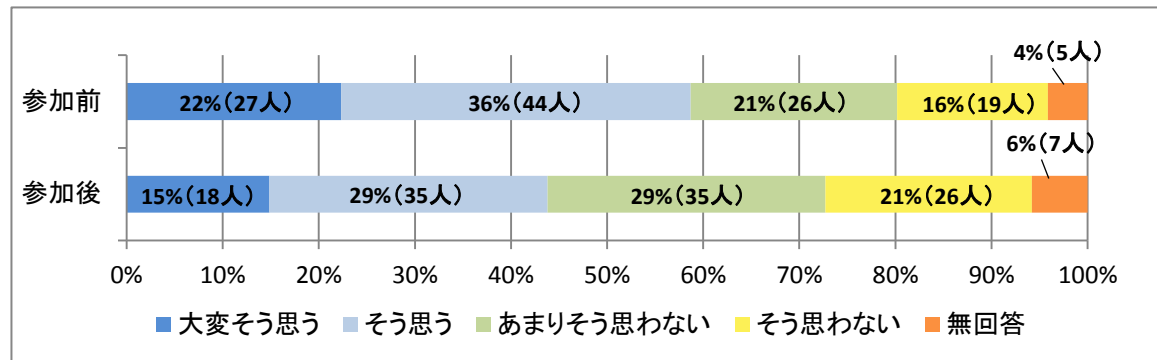


## シンポジウムに参加される前と後の感想について

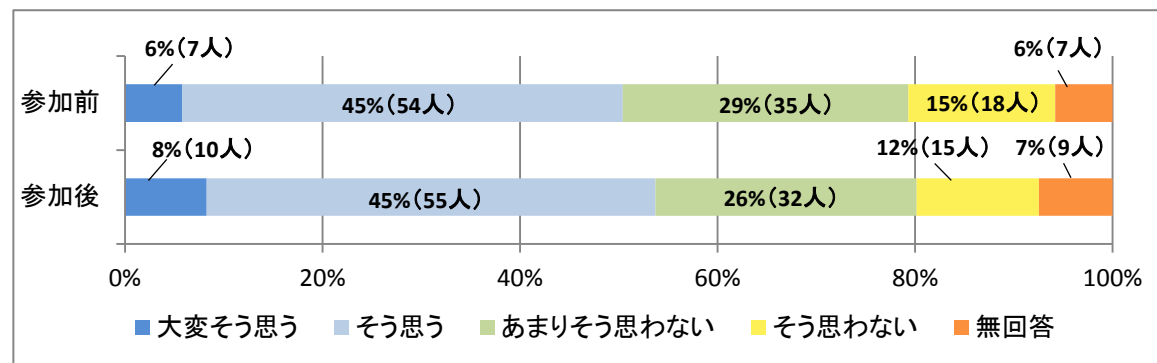
### Q 6. 遺伝子組み換え食品の安全性に不安がある



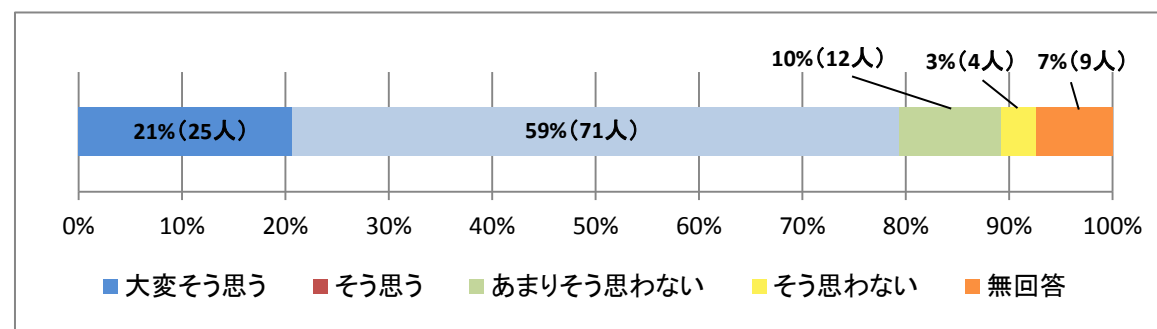
### Q 7. 遺伝子組み換えの表示がある食品を購入したくない (購入しない)



### Q 8. 行政の行う遺伝子組み換え食品の安全性審査を信頼している

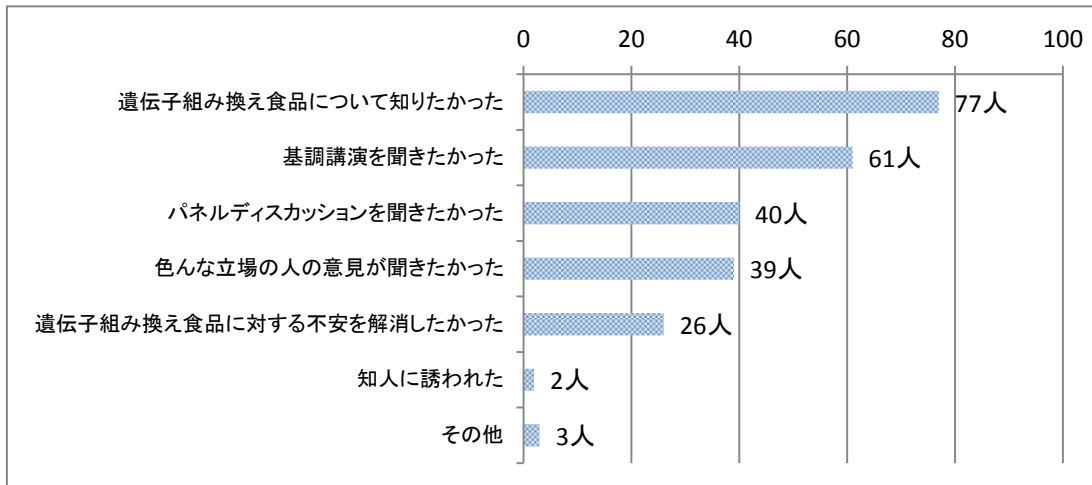


### Q 9. シンポジウムに参加して、遺伝子組み換え食品に対する理解が深まった

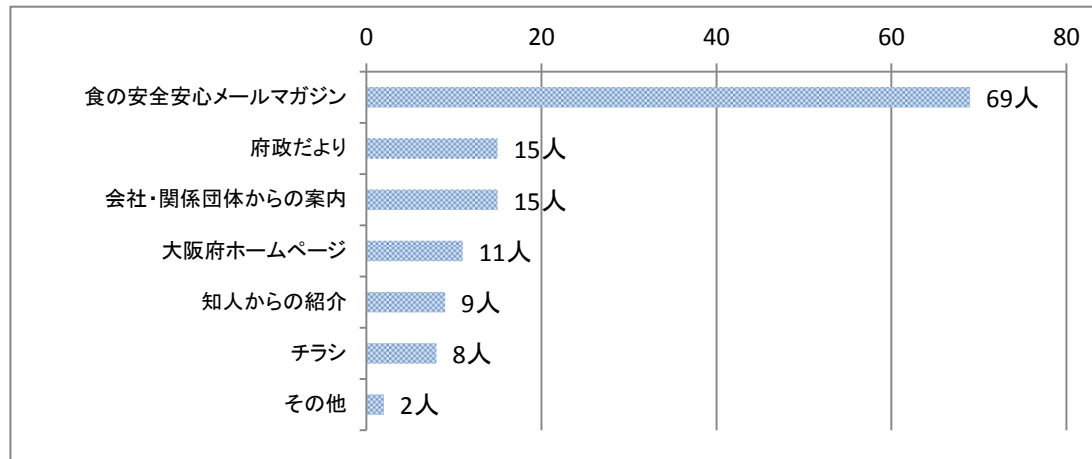


## その他

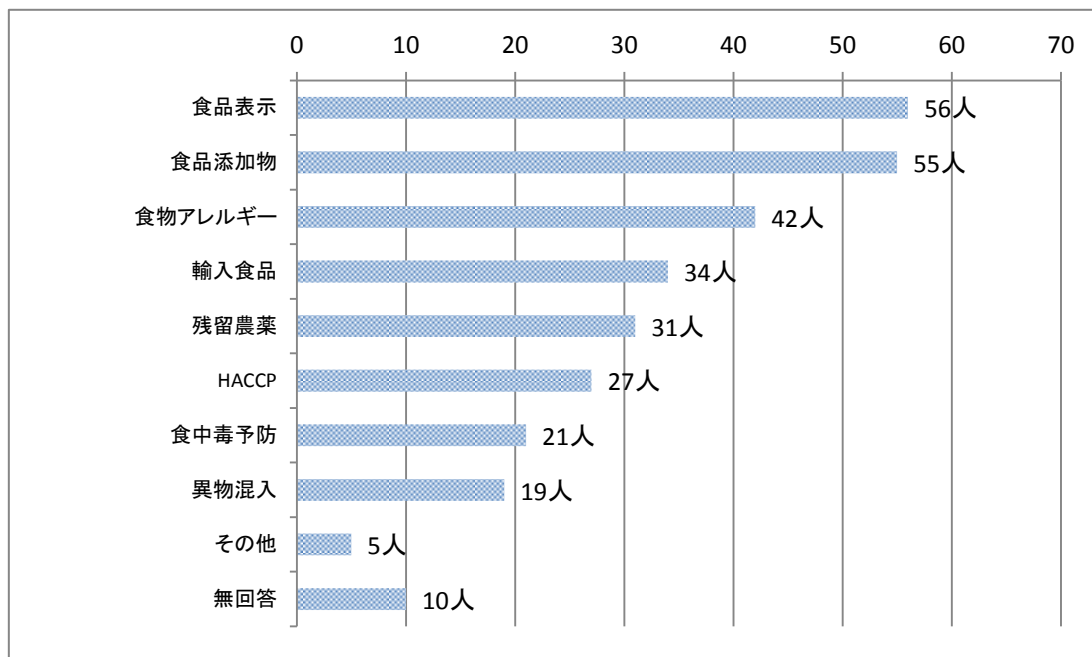
### Q 10. シンポジウムに参加した理由は何ですか？（複数回答可）



### Q 11. 今回のシンポジウムは何を通じてお知りになりましたか？（複数回答可）



### Q 12. 今後参加したいシンポジウムのテーマは何ですか？（複数回答可）



### **Q13. その他、ご意見、ご感想があればご記入ください。（一部抜粋）**

#### **【基調講演について】**

- ・遺伝子組み換え食品のメリット・デメリット、生産者や環境への負担など、改めて分かった部分があった。20年前から考え方が変わった経緯もよく分かった。データで見るとは大切なことですね。
- ・主旨は理解できましたが、そこまで割り切れないところも。農家が遺伝子組み換え作物を使いたがるのは生産性が上がるからであって、安全性は優先ではない。
- ・デメリットもあるのに、導入に前のめりな感じがしました。

#### **【パネルディスカッションについて】**

- ・展開が早く少し内容に戸惑うこともありましたが、色々な立場の人の意見が聞け、良かったと思います。
- ・多種多様な意見が聞け、自分の考えをまとめる（理解する、判断する）材料になりました。遺伝子組み換え食品に対し、デメリットばかりが耳に入りますが、メリットも聞いて良かったと思います。
- ・行政と消費者の想いは、なかなか合致しないと思う。そうは言われても・・・という感じ。以前にも参加したことがあります、その時も同じような思いが残りました。
- ・安全が担保されているのはウソ。0リスクはないことに触れるべき。
- ・いくら「安全」と行政が言っても、心で生じる不安はなくなるのでは・・・。ゼロリスク信仰、なんとかならないものか。
- ・いろんな問題が出てよかったと思いますが、なかなか納得できる結末にはならなかった。
- ・意見の相違が広すぎてかみ合っていなかった。現実的な視点から考えなければならないのではないか？官も民も消費者も。

#### **【シンポジウムを通して・その他】**

- ・「安全」をどうとらえるかについては、消費者一人一人が多様な価値観を持つ現代において、納得のしどころが皆異なるだろうと思います。私自身は何って、自身の選択についてのものさしを明確にするいい機会になりました。
- ・食に関する興味深い話題を取り上げてくれてありがとうございます。日本人は最新の技術に対し、特に食に関しては、拒否感を示すことが多いと思います。もっと最新の情報を知って学ぶべきだと思います。
- ・現実には危害が出ていないのに、残留農薬・添加物・輸入食品には反対論が多い。何故そんなに不安に思うのか、その理由を知りたくて、多くの人の意見を聞きたいと思います。
- ・「安全かもしれないが安心ではない」というマスコミの偏向報道の問題かもしれない。
- ・「安心」を得るのは難しい。私自身はやはり不安な部分もあるので、でも高いは無理なので、総量規制の考えで。
- ・現時点で科学的には安全であると思われるが、安心という意味で20年の食経験では短いと思います。選択を可能にするため、厳格な表示制度を希望します。
- ・気持ち悪さ（遺伝子組み換え食品を理解できない気持ち）は残るものの、食糧不足が叫ばれる中、生産量を増やす有効な手段だし、後進国の発展につながるのであれば、日本も積極的に関与する必要があるのかとも思いました。
- ・少し組み換え食品に対する嫌悪感が下がった気がします。不安は変わりませんが・・・。
- ・殺虫剤などの農薬の使用量と遺伝子組み換え作物との関連性が、いまいち理解できていなかったのですが、なるほど、殺虫剤を使用しなくてもよくなるなら、メリットは大きいと感じました。「安心」に対するコストは商品代に上乗せできないので、事業者には厳しいです。
- ・自分の不勉強が分かりました。もっと知る努力が必要と感じました。
- ・食品についてもっと勉強していこうと感じます。皆が安心して食べることができる。多量に生産できることが必要だと思います。
- ・消費者は勉強もしないで「わかりにくい」と言っているのかわかりませんが、このような機会は必要だと思います。何とか多くの人を引っ張り出す工夫をよろしく願いいたします。